

第2回地域交流まつり

平成30年10月27日（土）に当院の地域交流まつりが開催されました。出展していただいた多くの方々のご協力やご来場いただいた皆様のおかげで盛況のうちに終えることができました。誠にありがとうございます。地域の方々へ日頃の感謝をお伝えし、お子様からお年寄りまで楽しめるイベントとして来年も継続して開催できるよう精進して参ります。

多摩丘陵病院 広報委員会



上根・白山神社のお囃子連のお囃子



当院職員による心肺蘇生の寸劇



ビーボくんもきました



町田消防署忠生出張所より消防車の乗車体験



スーパーボールとヨーヨーつりはお子様に大人気

町田消防署 新藤博署長に ご講演いただきました！



町田消防署 新藤博署長

平成30年12月4日（火）、見える化改革報告書「救急活動」と題して町田消防署 新藤博署長にご講演いただきました。院長をはじめ救急業務を担当する看護師、技師、事務職員をはじめ多数の職員が参加いたしました。

◆ご講演内容として

今年の夏は異常な猛暑のため熱中症の搬送件数が非常に増えたこと。東京オリンピックの備えとして現場到着までの時間を短縮する努力をしている事。
救急要請の件数は高齢者の需要が高く、社会が「少子高齢の多死社会」となりつつある。これは、救急隊のみの問題ではなく社会全体の課題で、地域で高齢者を守る社会作りが必要であること。
救急活動に係る時間としては病院からの引き揚げ時間が長く効率的な救急隊の運用のため救急隊の早期引き揚げに病院の協力を願いたい。

現場到着時間短縮の取り組みとして

救急の需要予測をして需要の高い所に重点的に救急車を配備する。
町田の場合は町田駅周辺の需要が高く、本署の移転に伴い駅周辺の救急需要に対応するため5月16日に原町田分駐所を設置、救急車を配備した。
機動的な運用時間帯において庁舎移転前より現場到着時間が短縮され非常に良い効果を出している。
今後は救急需要予測システムを活用しビックデータを基に救急隊を事前に動かして対応、現状よりもさらにフレキシブルに対応したい。等のお話をいただきました。

救急隊の効率的な運用に対するご説明を頂き、救急隊の無駄の無い配置と効率的な動きに病院としても出来るだけの協力を惜しまないようにと参加した全員の意思統一が出来ました。
今後も病院として救急活動の効率化のため協力していきたいと思っております。

近隣の病院栄養士が当院に来られました！



多摩丘陵病院 栄養科

昨年11月30日午後、山梨県民間病院協会栄養士部会様の県外研修として、管理栄養士20名、事務長部会部会長、事務局長の総勢22名がご来院されました。当院の管理栄養士から、患者さんの栄養管理や栄養相談の方法、嚥下障害の方のための食事内容、栄養サポートチームの体制、当院が中心となって取り組んでいる「町田・食の連携プロジェクト」のことなどを紹介しました。参加者からは日々の業務に直結した具体的な質問が挙がりました。外部からの研修受入れは初の試みであり、貴重な交流の時間となったと同時に、当院の特徴や強みを見つめ直す絶好の機会にすることができました。